

懐かしの黒姫高原スキーへ

2019.3.4 武中 史朗

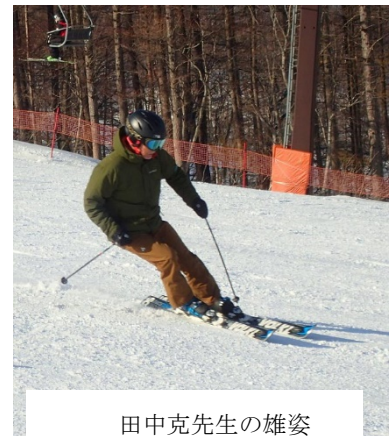
昔、若い頃に黒姫高原スキー場で滑ったことがありました。今回、地球環境自然学講座コーディネーター田中先生と一緒に黒姫山へ行く機会に恵まれました。

講座を受講して8年経過。昨年は山歩会のスキーと日程がぶつかり断念しましたが、今年は日程調整してやっと参加することができました。

参加者は全員で9名。JRの利用組と夜行バス利用組に別れ、私は梅田21時50分発の夜行バスにて長野駅前6時50分に到着。長野駅からタクシーに乗り10分で裾花峡温泉うるおい館の早朝露天風呂へ直行。泉質はカルシウム37%、鉄0.9%で、身熱を除去する効果があることから名づけられたと伝えられる「熱の湯」で有名。人が少なく、広い露天風呂に大満足。体がポカポカして、夜行バスの疲れが吹っ飛びました。

宿泊先のホテル若月に10時30分頃到着。足慣らしのためスキー板を担いでスキー場へ。午前中は視界が良かったのですが、午後からはガスが出て、早々に宿へ引き返しました。田中先生のスキーは、想像していたとおり安定感のある優雅な滑りでした。夕食時には、仲間の自己紹介などで盛り上がりとても楽しかったです。

2日目は快晴。夜中に少し雪が降っていたため、気持ちよく滑ることができ、満足でした。快晴だったので、仲間が宿に帰っても最終リフト時間の16時過ぎまで滑りました。どっしりとした黒姫山と山頂が鋭く尖った妙高山が綺麗に見え、野尻湖も眼下に眺めながら滑れました。さすが遅くまで滑っていたので、高齢にはこたえたのか、21時には寝床に入り、朝まで熟睡しました。



田中克先生の雄姿

3日目は曇りだったので、昼からは池の平にあるランドマークの温泉へ。露天風呂は黒泥湯で、めずらしい黒色でした。内湯は温かく筋肉痛はすぐにとれて、体が軽くなり気持ち良かったです。



4日目は野尻湖ナウマンゾウ博物館へ、昨年リニューアルしたとのこと。平成28年7月に講演していただき、また10月野尻湖観察会でお世話になった近藤洋一館長に案内して頂きました。なかでも、シベリアに生息する赤シカの皮でできたマントを羽織り記念写真を撮ることができ嬉しかったです。来年も、黒姫高原スキーに行きたいと思いつつながら帰路に着きました。

←私・武中は、スキーが下手でもまだ滑っています